

特別支援(きらきら)学級算数科学習指導案

日 時 平成 23 年 10 月 6 日 (木) 5 校時
 児 童 2 年女 1 名 4 年男 2 名女 1 名 計 4 名
 指 導 者 支 援 員

- 1 単元名 2年 「新しい計算を考えよう」 (東京書籍 2 下)
 4年 「わり算のしかたを考えよう」 (東京書籍 4 上)

2 児童について

特別支援学級には今年度新たに入級してきた4年T男を含め、現在2年の児童1名と4年の児童3名が在籍している。知的には境界線～平均領域にある児童らで、4名とも教師の簡単な指示や発問を理解することができ、教科別の課題解決型の学習がある程度可能であるととらえている。しかし、まだ目線を十分に合わせるができなかつたり、文脈を理解することが難しかったりするため、言葉による応答だけではかみ合わなくなることがある。またその障がいのために、自分の気持ちや行動をコントロールしきれずトラブルとなりやすい児童、こだわりが強く切り替えが難しい児童、対人関係やコミュニケーションに課題があるために、相手の気持ちや周囲の状況を的確に把握することが難しい児童というように個々の特性が顕著である。そのため、活動の見通しがもてるよう取り組むべきことを具体的に分かりやすく伝えることや、個別の声がけをして取り組めたことをこまめに認めていくことなど、学習環境を整えておくことが必要である。

算数科に関わっては、2年女児と4年男児2名は教科学習の中で算数が好きだと答えており、測定の正確さに課題があるものの、反復練習により計算技能を身につけることができるようになってきている。一方、4年女児は、算数への苦手意識をもっており、数量概念の理解や計算技能・正確さなどに課題がある。数字に関わる直接的な経験を広げ、数量的な感覚を豊かにするため、教科学習においても、できるだけ生活と結びついた題材を用意して具体物を使った操作活動を取り入れること、実際の操作と図・式・言葉を結びつけて進めるようにすることなどの工夫が必要である。また算数的思考と表現(話す・聞く・かく)に関わっては、前述の通り4名とも言葉による応答だけでは難しい実態があるため、話す・聞く活動では目線や姿勢への声がけ、接続語の補足、児童の思考の意図に即した言い換え、かく活動では表現への直接的支援やパターン化などの支援を行っている。

算数の教科学習を進めるうえで、2年女児と4年3名では学習内容が異なることまた、4年の3名は障がいや発達段階に多少の違いはあるものの同様の内容での学習が可能であることから、複式の形態をとることが多い。2年女児は教師または支援員と1対1の学習となる場合が多いので、学習の始めに本時の学習を確認したり、学習の終わりに活動の様子を紹介したりして、仲間を意識させ、学習に意欲をもたせるようにしている。

児童の学習態度における課題と、数と計算に関する実態を以下のようにとらえた。

2年Y女	<ul style="list-style-type: none"> ・指示や発問の意図が伝わりにくくかみ合わないことがあり、注意がそれやすい。 ・1000までの数詞の読み書き、大小がわかる。 ・2けた同士の加減法は指を使いながらできる。
4年H男	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちや行動のコントロールが難しい。手指の巧緻性に課題がある。 ・10000までの数詞の読み書きができる。 ・かけ算九九を唱えることができ、九九を1回適用してできるわり算ができる。
4年S女	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いを指摘されると指示が通らなくなることがある。 ・10000までの数詞の読み書きで戸惑うことがある。 ・九九暗唱の定着が難しく、わり算には九九カードなどの支援が必要である。 ・10までの加減算に指を使うことがある。
4年男	<ul style="list-style-type: none"> ・こだわりが強く固執すると学習に集中することが難しい。 ・一斉指示が伝わらないことが多く、個別に声がけが必要である。 ・10000までの数詞の読み書きができる。 ・かけ算九九を唱えることができ、九九を1回適用してできるわり算ができる。

3 単元について

(1) 教材について

2年Y女は、これまでに1000までの数の概念と3位数+1, 2位数、3位数-1, 2位数の筆算について学習し理解を進めてきた。昨年度は、100までの数の概念理解において「10が6こで60」など、10のまとまりをつくってその数を数えて総数を求める学習、また、時刻の読み方の学習で「5, 10, 15・・・」など5とびで数えるという経験もしている。本単元では、それらの経験をふまえ、新しい計算である乗法へと学習を進める。身の回りから「同じ数のまとまり」に着目して乗法が適用できるものや場面を探させたり表現させたりして、「1つ分の数」×「いくつ分」=「ぜんぶの数」という言葉で表される乗法の意味理解を図る。その後、具体物やアレイ図を活用、同数累加に着目させながら5, 2, 3, 4の段の構成を学習する。さらに、計算を速くし便利である九九の暗唱にも取り組ませる。

4年H・S・T児はこれまでに、除法の意味と九九を1回適用してできる除法の計算、何十・何百÷1けたの計算方法について学習してきた。本単元では、それらの学習を踏まえ、わり算の意味についてあらためて正しく理解させた上で、除法の筆算形式を導入する。はじめに、これまで言ってきた九九を使って計算するだけでは答えがみつけれない2けたの数を取り上げ、実際に分ける操作をさせる。次に、大きい数から順に残った数を分けるという操作と筆算の「たてる」「かける」「ひく」「おろす」という4つの手順を結び付け、筆算の仕方の理解を図る。ここでは、除数が1位数で被除数が2, 3位数の場合までを取り上げ、単元を通して具体物による操作を行いながら、児童の実態に合わせて言葉・数・図などを用いて計算の意味や計算のしかたを考えさせたり、説明させたりする学習を取り入れて理解を図る。さらに、筆算では上位から順に計算を進めていくこと、4つの手順が繰り返されていることとおさえて、正しく計算できるように取り組ませる。

(2) 指導にあたって

問題提示にあたっては、単元を通していずれも、児童らにとって親しみ易い買い物などの場面設定や具体物から問題との出会いを提示して児童の興味・関心を喚起し、場面のイメージ化や言葉の意味理解を図っていききたい。課題の解決にあたっては、児童らが既習の学習内容を活用して解決の見通しをもてるようにするため、具体物(2年おはじき、4年お金)を継続した上で数に変化をもたせたり、前時までの解決方法を本時でも掲示したりして、児童の操作活動や思考の手がかりとなるようにしていききたい。複雑な操作については教師と一緒にいねいに扱い、繰り返し言わせるなどして、実感を伴った理解をさせるようにしたい。その上で実際の操作と式・言葉に関わらせながら、意味理解や思考を深める学び合いの場を作っていきたい。2年Y児の学び合いは、自分の考えを教師や支援員に自分なりに伝えることととらえ、場を個別に設定することによって表現のしかたを学ばせていきたい。

また、計算練習の時間には、賞賛の場や活用の場を設定して学習意欲を引き出し、計算技能を高めていきたい。

4 単元の目標

2年Y女	・乗法の意味について理解し、乗法九九(5・2・3・4の段)を構成して唱えることができる。
4年H男	・2~3位数÷1位数の計算のしかたを理解し、その計算ができる。
4年S女	・2~3位数÷1位数の計算のしかたを理解する。
4年T男	・2~3位数÷1位数の計算のしかたを理解し、その計算ができる。

5 単元指導計画

時	2年 Y 児 (全25時間)	時	4年 H・S・T 児 (全17時間)
1	●新しい計算への興味、関心を高める。 (オリエンテーション)	1	●買い物場面から数量の関係を理解する。 (オリエンテーション)
2	●「1つぶんの数」「いくつ分」をとらえられるようになる。	2	●2位数÷1位数=2位数(余りなし)の計算の仕方を考える。
3	●乗法の意味を理解する。	3	●2位数÷1位数=2位数(余りなし)の筆算の仕方を理解する。
4			

5	●乗法の意味を確実にする。	4	●2位数÷1位数=2位数(余りなし)の筆算を練習する。
6	●乗法の答えは被乗数を乗数の数だけ累加して求められることを理解する。	5	●2位数÷1位数=2位数(余りありで各位ともわり切れない)の計算の仕方を考え理解する。
7	●「倍」の意味を理解し、乗法を適用する。	6	●2位数÷1位数=2位数(余りありで各位ともわりきれない)の筆算を練習する。
8	●身の回りから乗法の場面を見いだす。		
9	●学習内容を適用し問題を解決する		
10	●5の段の九九を構成する。	7	●2位数÷1位数=2位数(余りありで十の位でわり切れる、及び九九1回適用)の計算の仕方を考え理解する。
11 12	●5の段の九九を練習し、問題を解決したり買い物場面で活用したりする。	8	●2位数÷1位数=2位数(余りありで各位ともわり切れる、及び九九1回適用)の筆算を練習する。
13	●2の段の九九を構成する。	9 本時	●3位数÷1位数=3位数(各位ともわり切れない、及び一の位でわり切れる)の計算の仕方を考え理解する。
14 15	●2の段の九九を練習し、問題を解決したり買い物場面で活用したりする。	10	●3位数÷1位数=3位数(各位ともわりきれない、及び一の位でわり切れる)の筆算を練習する。
16 本時	●3の段の九九を構成する。	11	●3位数÷1位数=3位数(商に空位を含む、及び百の位や十の位でわり切れる)の計算の仕方を考え理解する。
17 18	●3の段の九九を練習し、問題を解決したり買い物場面で活用したりする。	12	●3位数÷1位数=3位数(商に空位を含む、及び百の位や十の位でわり切れる)の筆算を練習する。
19	●4の段の九九を構成する。	13	●3位数÷1位数=3位数(首位に商がたたない)の筆算の仕方を考え、理解する。
20 21	●4の段の九九を練習し、問題を解決したり買い物場面で活用したりする。	14	●3位数÷1位数=3位数(首位に商がたたない)の筆算を練習する。
22 23	●5、2、3、4の段の理解を深める。	15 16	●学習内容を確実に身につける。
24	●学習内容を適用して問題を解決する。		
25	●学習内容定着を確認し理解を確実にする。	17	●・学習内容の理解を確認する。

6 本時の指導

(1) 本時の目標

2年女	4年H男	4年S女	4年T男
・3の段の九九を構成することができる。	・3位数÷1位数(各位ともわり切れない、及び一の位でわり切れる)の計算のしかたについて考えることができる。	・3位数÷1位数(各位ともわり切れない、及び一の位でわり切れる)の計算のしかたについて考え、自分なりに表現することができる。	・3位数÷1位数(各位ともわり切れない、及び一の位でわり切れる)の計算のしかたについて考え、理解することができる。

(2) 研究との関わり

① 「考えるきっかけ」について

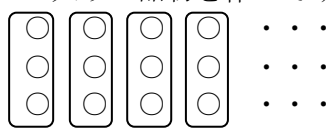
2年Y女	既習と一つ分の数が違う新たな品物をつくることから、本時の問題意識を引き出し、児童の追求意欲につなげる。その上で、既習の5の2の段でも活用した同数累加という考え方で解決してみようという視点をもたせ、操作・式・言葉による解決方法への見通しを持たせる。
4年H男 4年S女 4年T男	教師の持っている財布を提示してその金額の前時との違いから、本時の問題意識を引き出し、児童の追求意欲につなげる。前時までおこなってきた大きいお金で分けるという考え方で解決してみようという視点をもたせ、操作・式・言葉による解決方法への見通しを持たせる。

② 「互いの考えを共有する場」について

2年Y女	具体物を操作させて3つずつ増えていることを体得させながら、3の段の式をノートに書き並べ自力解決させる。具体物と式を対応させて視覚化し、3の段の構成「 $3 \times \bigcirc = \Delta$ 」を「3が \bigcirc 袋で Δ 」という簡単な言葉に置き変えて児童に繰り返し表現させ、まとめの段階で担任に伝えさせることで、共有の場とする。
4年H男 4年S女 4年T男	大きな数から分けることを想起させて個別に具体物を操作させ、既習の筆算手順をもとにできるところまで筆算の自力解決をさせる。操作した具体物で答えを確かめさせた上で、計算の仕方につなげ筆算手順を検討させる。「たてて」「かけて」「ひいて」「おろす」の筆算手順をおさえて大きい位から一人ひとりに発表させ、どの数字に注目すればよいのか考えさせたり、九九やひき算の正誤を確かめ合わせたりすることで、共有の場とする。

(3) 本時の展開

過程	○学習活動 ・担任や支援員の働きかけ ※手立て ◇評価	
	2年Y児	4年H・S・T児
つかむ 7分	<p>1 問題場面を知る。</p> <p>○前時の学習内容を聞いて想起し、本時の問題を知る。</p> <p>・問題文を提示し、前時との違いに気づかせる。①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>一つのふくろに\squareに3つずつキャンディを入れます。何ふくろかつくります。 キャンディの数をしらべましよう。</p> </div> <p>・本時の数を知らせる。①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>※3個入りの袋を提示し一つのふくろに「\squareこずつ」の言葉や呼びかけ文から前時との違いに気づかせる。本時では何のだんになるのか考えさせ課題意識を引き出す。①</p> <p style="text-align: right;"><視点1></p> </div> <p>○何の段になるか考える。</p> <p>2 学習課題をつかむ。</p> <p>○課題をかく</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>3のだんの九九をつくろう。</p> </div>	<p>\square円のお金を3人で同じ数ずつ分けます。 一人分は何円になりますか</p> <p>・本時の数を知らせる。②</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>※問題文を読み、大事な言葉「同じ数ずつ」や問いかけの文に線を引かせる。財布からお金を取り出し、前時の金額と比較する。金額のけた数の違いに気づかせ、本時の課題意識を引き出す。②</p> <p style="text-align: right;"><視点1></p> </div> <p>○立式する。</p> <p>2 学習課題をつかむ。</p> <p>○課題をかく</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>$465 \div 3$の計算のしかたを考えよう。</p> </div>

	<p>3 解決を図る。</p> <p>(1) 解決方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の解決法を想起させ「3こずつ」を意識させる。キャンディを3こずつ増やす操作をイメージさせて、解決の見通しを持たせる。㊤ 	<p>3 解決を図る。</p> <p>(1) 解決方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの解決法や筆算のきまりを想起させ、100の位から実際に分ける操作と筆算で解決してみようという見通しをもたせる。㊤ 																																																																				
<p>考 え る</p> <p>30 分</p>	<p>(2) 自力解決を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3こ入りの品物を作らせ、同数累加を視覚的に捉えさせる。㊤ ・操作をもとに3の段の九九をノートにかかせる。㊤ <p>○3こ入りの品物を作ってみる。</p>  <p>○3の段の九九をノートにあらわす。</p> <table border="0"> <tr><td>$3 \times 1 = 3$</td><td>3が1袋で3</td></tr> <tr><td>$3 \times 2 = 6$</td><td>3が2袋で6</td></tr> <tr><td>$3 \times 3 = 9$</td><td>3が3袋で9</td></tr> <tr><td>$3 \times 4 = 12$</td><td>3が4袋で12</td></tr> <tr><td>$3 \times 5 = 15$</td><td>3が5袋で15</td></tr> <tr><td>$3 \times 6 = 18$</td><td>3が6袋で18</td></tr> <tr><td>$3 \times 7 = 21$</td><td>3が7袋で21</td></tr> <tr><td>$3 \times 8 = 24$</td><td>3が8袋で24</td></tr> <tr><td>$3 \times 9 = 27$</td><td>3が9袋で27</td></tr> </table> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇同数累加の考え方をういて3の段の九九の構成を解決している。 (観察・ノート)</p> <p>→自力解決できない時は、支援員と一緒に数を数えさせたり、前の九九の答えに3をたす方法を教えたりする。</p> </div> <p>4 検討を加える。</p> <p>(1) 具体物と式を照合する。</p> <p>○式と答えを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体物を提示し、一袋増えるごとに答えが3こずつ増えているか確認させる。㊤ <p>(2) 3の段の構成を検討する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※3の段の式について、話型(「～が～袋で～です」)にそって、主述を整えて話させる。難しい時はお手本を示す。㊤</p> <p style="text-align: center;"><視点2></p> </div>	$3 \times 1 = 3$	3が1袋で3	$3 \times 2 = 6$	3が2袋で6	$3 \times 3 = 9$	3が3袋で9	$3 \times 4 = 12$	3が4袋で12	$3 \times 5 = 15$	3が5袋で15	$3 \times 6 = 18$	3が6袋で18	$3 \times 7 = 21$	3が7袋で21	$3 \times 8 = 24$	3が8袋で24	$3 \times 9 = 27$	3が9袋で27	<p>(2) 自力解決を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100円から順に操作させる。両替の分のお金を用意しておき、3人に同じ数ずつ分けさせる。㊤ ・操作をもとに筆算の仕方を自力解決できるところまでかかせる。㊤ <p>○実際にお金を分けてみる。</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>①100円4枚を分ける</td></tr> <tr><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>②残った100円を両替</td></tr> <tr><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10円16枚を分ける</td></tr> <tr><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>③残った10円を両替</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1円15枚を分ける</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>一人分は155円</td></tr> </table> <p>○筆算のしかたをノートにあらわす。</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td style="text-align: right;">$\begin{array}{r} 155 \\ 3 \overline{) 465} \\ \underline{3} \\ 16 \\ \underline{15} \\ 15 \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$</td><td>百の位の計算 $4 \div 3 = 1$あまり1 1をたてる かける ひく 6おろす</td></tr> <tr><td></td><td>十の位の計算 $16 \div 3 = 5$あまり1 5をたてる かける ひく 9おろす</td></tr> <tr><td></td><td>一の位の計算 $15 \div 3 = 5$ 5をたてる かける ひく</td></tr> </table> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇大きいお金から同じ数ずつ分けたり、既習の筆算手順をもとに100の位から順に位ごとに計算したりして解決している。 (観察・ノート)</p> <p>→自力解決できないときは児童のところへ行き、一緒に操作する。</p> </div> <p>4 検討を加える。</p> <p>(1) 操作から答えを確認する。</p> <p>○お互いの操作を確かめ合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体物を黒板に提示して確認させ、一人分の金額がいくらになるのか確認させる。㊤ <p>(2) 筆算のしかたを検討する</p>	100	100	100	①100円4枚を分ける	10	10	10		10	10	10	②残った100円を両替	10	10	10	10円16枚を分ける	10	10	10		10	10	10		1	1	1	③残った10円を両替	1	1	1	1円15枚を分ける	1	1	1		1	1	1		1	1	1	一人分は155円	$\begin{array}{r} 155 \\ 3 \overline{) 465} \\ \underline{3} \\ 16 \\ \underline{15} \\ 15 \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$	百の位の計算 $4 \div 3 = 1$ あまり1 1をたてる かける ひく 6おろす		十の位の計算 $16 \div 3 = 5$ あまり1 5をたてる かける ひく 9おろす		一の位の計算 $15 \div 3 = 5$ 5をたてる かける ひく
$3 \times 1 = 3$	3が1袋で3																																																																					
$3 \times 2 = 6$	3が2袋で6																																																																					
$3 \times 3 = 9$	3が3袋で9																																																																					
$3 \times 4 = 12$	3が4袋で12																																																																					
$3 \times 5 = 15$	3が5袋で15																																																																					
$3 \times 6 = 18$	3が6袋で18																																																																					
$3 \times 7 = 21$	3が7袋で21																																																																					
$3 \times 8 = 24$	3が8袋で24																																																																					
$3 \times 9 = 27$	3が9袋で27																																																																					
100	100	100	①100円4枚を分ける																																																																			
10	10	10																																																																				
10	10	10	②残った100円を両替																																																																			
10	10	10	10円16枚を分ける																																																																			
10	10	10																																																																				
10	10	10																																																																				
1	1	1	③残った10円を両替																																																																			
1	1	1	1円15枚を分ける																																																																			
1	1	1																																																																				
1	1	1																																																																				
1	1	1	一人分は155円																																																																			
$\begin{array}{r} 155 \\ 3 \overline{) 465} \\ \underline{3} \\ 16 \\ \underline{15} \\ 15 \\ \underline{15} \\ 0 \end{array}$	百の位の計算 $4 \div 3 = 1$ あまり1 1をたてる かける ひく 6おろす																																																																					
	十の位の計算 $16 \div 3 = 5$ あまり1 5をたてる かける ひく 9おろす																																																																					
	一の位の計算 $15 \div 3 = 5$ 5をたてる かける ひく																																																																					

ま と め る 8 分	<p>○3の段の九九の構成を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 九九カードと具体物を対応させながら式を言わせたり、言葉で説明させたりして理解につなげる。㊸ <p>5 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> まとめを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">3のだんの九九は、3ずつふえる。</div> <p>○担任に3のだんの構成を話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 3×6について表現させる。㊹ <p>○本時の学習について自己評価を書く。</p> <p>6 本時の学習を振り返る。</p> <p>○本時の学習でわかったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年Y女、4年S女に発表させるが、一人での発表に戸惑うときは教師が言葉を補う。 H男、T男には発表者を見るよう指示をする。 それぞれの学習活動について賞賛や励ましをし、次時の学習に意欲をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習の2位数÷1位数の筆算の仕方や操作をもとに百の位から順に九九を使って計算していけばよいことを確認する。㊺ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">※「たてる」「かける」「ひく」「おろす」のカードを提示して言葉をおさえ、百の位から手順にそって一人ひとりに計算の仕方を説明させる。 <視点2></div> <ul style="list-style-type: none"> どの数字に注目すればよいか、3のだんの九九やひき算に誤りがないかその都度確認させる。㊻ 位ごとに計算を進めていくことにより、正しい答えを求めることができることに気づかせ、筆算手順の理解につなげる。㊼ <p>5 学習のまとめをする。</p> <p>○まとめ書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">百の位から順番に九九を使って計算する。</div> <p>○本時の学習について自己評価を書く。</p>
----------------------------	--	--

6 板書計画

・2年

<p>㊸ 一つのふくろに3こずつキャンディを入れます。何ふくろかかります。キャンディの数をし</p> <p>一つ分の数 3</p>	<p>3のだんの九九</p> <p>$3 \times 1 = 3$</p> <p>$3 \times 2 = 6$</p> <p>...</p>	<p>構成図</p>
<p>㊹ 3のだんの九九をつくらう</p>	<p>㊺ 3のだんの九九は3ずつふえる。</p>	

・4年

<p>㊻ 465円のお金をを3人で同じ数ずつ分けます。一人分は、何円になりますか。</p> <p>しき $465 \div 3 = 155$ 答え 155円</p> <p>㊼ $465 \div 3$の計算のしかたを考えよう</p>	<p>㊽ 百の位から順番に九九を使って計算す</p> <p>㊾ ☺ ☺ ☺</p> <p>お金</p>	<p>筆算手順</p>
<p>㊿ お金</p> <p>筆算</p>		